

第8章 事後調査

8.1 事後調査の必要性

予測評価を行った項目のうち、動物、植物への影響については、環境保全措置の効果に不確実性が含まれていること、 期工事・ 期工事の着工時には分布種の状況が異なる可能性があることから、事後調査を実施することとした。

8.2 事後調査の概要

事後調査の概要は、表 8-1～表 8-3 に示すとおりとした。

表 8-1 事後調査の概要（Ⅰ期）

事後調査の対象		項目	内容
動物	猛禽類	調査項目	各年の種の出現状況に応じて決定
		調査時期	工事中（有識者との相談の上、時期を決定する）
		調査地域	工事箇所周辺
		調査方法	定点観察
植物	サクラソウ	調査項目	生育状況、生育環境（活着状況）
		調査時期	移植後 1 回/年、3 ヶ年
		調査地域	移植地点
		調査方法	現地確認
	移植対象種 （サクラソウ以外）	調査項目	生育状況、生育環境（活着状況）
		調査時期	移植後 1 回
		調査地域	移植地点
		調査方法	現地確認

表 8-2 事後調査の概要（Ⅱ期）

事後調査の対象		項目	内容
動物	重要種全般	調査項目	重要種の分布状況
		調査時期	期工事着手前
		調査地域	期工事の改変箇所周辺
		調査方法	現地確認（簡易調査）
	猛禽類	調査項目	営巣状況
		調査時期	期工事着手前
		調査地域	期工事の改変箇所周辺
		調査方法	現地確認（営巣地踏査）
植物	重要種全般	調査項目	重要種の分布状況
		調査時期	期工事着手前
		調査地域	期工事の改変箇所周辺
		調査方法	現地確認（簡易調査）
備考		上記の調査により、 期工事による動植物への影響が大きいと想定された場合は、保全対策等を検討する。	

表 8-3 事後調査の概要（期）

事後調査の対象		項目	内容
動物	重要種全般	調査項目	重要種の分布状況
		調査時期	期工事着手前
		調査地域	期工事の改変箇所周辺
		調査方法	現地確認（簡易調査）
	猛禽類	調査項目	営巣状況
		調査時期	期工事着手前
		調査地域	期工事の改変箇所周辺
		調査方法	現地確認（営巣地踏査）
植物	重要種全般	調査項目	重要種の分布状況
		調査時期	期工事着手前
		調査地域	期工事の改変箇所周辺
		調査方法	現地確認（簡易調査）
備考		上記の調査により、期工事による動植物への影響が大きいと想定された場合は、保全対策等を検討する。	

8.3 事後調査の結果により、環境影響の程度が著しいことが明らかになった場合の対応の方針

本報告書において予測し得ない環境上の著しい影響が生じた場合には、事業者が必要に応じて学識経験者の指導・助言を得て、環境保全措置の見直し、追加調査等の適切な措置を実施する。

8.4 事後調査結果の公表の方法

事後調査結果については、「岩手県環境影響評価条例」に基づき事後調査報告書を作成し、県及び関係市町村へ報告するとともに、公告・縦覧する。